

患者個人情報の紛失（盗難）について

京都府立医科大学附属病院長 夜久 均

当院医師が、当院及び関係病院の患者の個人情報の入ったノートパソコン 1 台及び外部記録媒体（USB メモリー）2 個を紛失する（盗難される）という事態が発生いたしましたので、お知らせいたします。

患者様の氏名、生年月日、住所等連絡先は含まれていませんが、患者 ID、病歴等など 95 名の個人情報が含まれていました。

該当される患者の皆様には、多大なご心配をおかけしましたことを深くお詫び申し上げます。

記

1. 紛失（盗難）の状況等

当該職員は 12 月 6 日（日） 13 時頃自転車で出勤し、17 時頃カバンを紛失（盗難）していることに気付いた。カバンの中には、病歴等の患者情報や実験データ等を含むノートパソコン 1 台及び USB メモリー 2 個が入っていた。

2. 紛失（盗難）した情報について

・患者 ID、病歴等の患者情報（95 名）

なお、氏名・生年月日、住所等連絡先は含まれていない。

また、ノートパソコンは顔認証とパスワードを設定。USB メモリーはパスワード設定していないが個人情報が入っていない。

3. 対応状況

・12 月 7 日（月）学内（院内）を探すとともに、学内紛失物窓口へ届け出

・12 月 8 日（火）学内の防犯カメラの確認を行い、駐輪場にて紛失（盗難）したことを確認

・12 月 9 日（水）警察に盗難届を提出

・12 月 11 日（金）より該当される患者の皆様へ、本件の内容説明と謝罪を行っているところ。

・なお、現在のところ、当該個人情報の漏洩等の事実は確認されていない。

4. 再発防止措置

今回、個人情報の適切な取扱いが徹底されていなかったことから、個人情報の取扱いや保管、管理について各種会議や研修などを通じて全職員に対して周知していくことにより、個人情報保護の一層の徹底を図ることとします。